

巻頭言：持続可能な生涯学習社会の実現に向けて	1
令和 2 年度神奈川県図書館協会総会開催報告	2
表彰受賞者	2
事業計画・予算	3
役員名簿・委員会名簿	4
令和 2 年度人材育成事業	5
連載：わたしのイチオシ 小田原短期大学図書館 「海光る閲覧室」	6

持続可能な生涯学習社会の実現に向けて

広報委員会委員長 （小田原市立中央図書館長） 古矢 智子

令和元年度から広報委員長を務めております、小田原市立中央図書館の古矢でございます。本協会の広報活動の推進に尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

国内の新型コロナウイルスの感染者数が 1 万人を超え、政府の緊急事態宣言を受けて、外出自粛や休業要請による感染拡大に歯止めをかける取り組みが行われてきました。こうした中で、図書館においても、長期間にわたる臨時休館、図書サービスを縮小した運営が続いておりますが、全国の図書館が安全に利用できる環境を 1 日も早く取り戻せますことを、心からご祈念申し上げます。

さて、図書館は、社会教育、生涯学習の推進に寄与するため、広範な本や情報の提供、読書活動の振興、次世代育成の推進、地域資産の継承、心地良い空間の創出、関係機関等との連携といった取り組みを通じ、利用者の方々が本や情報と出会い、人と出会い、新たな自分に出会う場として、豊かな暮らしを支援していく役割が期待されています。

また、社会情勢の変化やライフスタイルの多様化に伴い、図書館の運営形態や情報技術を活用したサービスの提供などの課題等も生じるとともに、昨年施行された、読書バリアフリー法において、公立図書館には国の基本計画を勘案した視覚障がい者等が利用しやすい図書館体制を整備するための計画策定が求められております。

本協会は昭和 3 年 3 月の設立以来、92 年もの長きにわたり、読書活動の推進、調査研究、人材育成などに館種を超えた枠組みで取り組んできたと同様に、今後も、本協会が長い歴史の中で培ってきた取り組みを大切にしながら、持続可能な生涯学習社会の実現に向けて、加盟館相互の連携をさらに深めながら取り組んでいくことが大切なことと考えております。広報委員会としては、今年度も、協会報の発行や図書館総合展への参加などを通じて情報の発信、共有を図りながら本協会の発展に尽力してまいりますので皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度神奈川県図書館協会総会開催報告

令和2年度神奈川県図書館協会総会は、4月21日(火)に神奈川県立図書館新館4階セミナールームにて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面総会に変更しました。

書面総会では、2点の審議と2点の報告を行いました。審議事項である、「令和元年度事業実施結果及び決算について」、「令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について」、原案のとおり承認されました。報告事項は「令和元年度会員の入退会状況報告」、「令和2年度人材育成事業について」でした。これに対し、意見は特にございませんでした。

例年、総会と同時開催している表彰式も中止とし、表彰状と副賞をお送りすることとなりました。会員施設に20年以上勤務した永年勤続職員4名、神奈川県図書館協会及び県内図書館事業に尽力し、功績のあった功労者5団体を表彰しました。

令和2年度 表彰受賞者

★永年勤続職員 4名

中野恵子(横須賀市立中央)、中村るみ(横須賀市立北)、福井孝治(東海大)、藤居慶子(日本大)

★功労者 5団体 ()内は推薦施設名

○市民グループ「子どもと本」(横浜市南)

横浜市南区を拠点とし、子どもと本に関する市民向け講座や、横浜市南図書館でのおはなし会を実施している団体です。平成4年に「子どもと読書」運営委員会として発足したのち、名称を変え、その後、28年の長きにわたり、地域の子どもの読書活動推進や図書館の事業に大きく貢献しています。

○朗読・録音ボランティア「野の会」(伊勢原市立)

平成2年度に伊勢原市立図書館が開催した朗読・録音養成講座受講者を中心に、図書館における視覚障がい者サービスを目的として設立された

ボランティア団体です。設立以来、視覚障がい者サービスへの高い志をもって、継続して活動しています。

年間を通じて録音図書の作成のほか、プライベートサービス(対面朗読)に従事し、近年は、あらゆる人を対象としたバリアフリー映画会においても、視覚障がい者の案内を務める等、活動の場を広げています。

○おはなしくれよん(綾瀬市立)

図書館のおはなし会団体として、長年地域の皆さんに愛されているおはなし会です。現在4名で活動していますが、新規会員を積極的に受け入れており、図書館の新しい読み手の育成にも尽力されています。

定例のおはなし会は月に1度ですが、それ以外の図書館事業にも積極的に参加し、日ごろから図書館にご協力をいただいています。

○おはなし「たんぽぽ」(愛川町)

幼児から小学生までを対象に、心のふれあいと読書の普及を目的として、昭和63年から図書館を拠点に公共施設等で活動されている、読書・読み聞かせボランティア団体です。

図書館においては、毎月1回開催する「おはなし会」で絵本の読み聞かせや紙芝居の上映等を行っており、そのうち、季節ごとの年4回は、人形劇やパネルシアターの上映等、規模を拡大し、毎回30名を超える参加者で盛況を博しています。

○かながわこどもひろば

(県立地球市民かながわプラザ)

神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)の設立当時である20年以上前より、あーすぷらざ1階ワークショップルームにて絵本読み聞かせや手遊び、わらべうたなどのおはなし会を開催しています。地域の子ども・親子を対象とした読み聞かせの活動を行っています。

令和2年度 事業計画

1 協会の運営・連絡

- (1) 総会の開催
- (2) 理事会の開催
- (3) 企画委員会の開催

2 調査研究事業

○図書館及び図書館資料に関して、次の調査研究を行う。

- (1) 県内図書館の地域資料等の調査研究（地域資料委員会）
- (2) 大学図書館加盟館間の情報交換と調査研究（大学図書館協力委員会）

3 研修事業 読書推進事業

○館員の資質の向上を図るための研修計画の企画

- (1) 研修委員会の開催

○研修活動の運営

- (1) 見学（国会図書館、公共図書館、大学図書館等）
- (2) 講座（大学図書館研修、窓口サービス、レファレンスサービス、図書館利用の促進等）
- (3) 児童担当者向け（児童サービス等）
- (4) 図書館総合展フォーラム 2020年11月4日 - 11月6日（予定）

- (5) その他

○読書推進活動

- (1) 子ども読書活動推進フォーラムを県立図書館と共催する。

4 広報活動事業

○図書館活動についてPRを行う。

- (1) 広報委員会の開催
 - (2) 「神奈川県図書館協会報」第271号～第274号を発行する。
 - (3) 協会ホームページのメンテナンス作業を実施する。
 - (4) その他協会活動についてPRを行う。
- 「神奈川の図書館2020」を刊行する。

5 表彰事業 共催・後援事業

○永年勤続職員及び県内図書館の功労者に対して表彰を行う。

※ 総会開催と同時に実施。

○県内図書館事業の振興を図る上で特に有意義な事業の奨励（共催・後援）。

6 人材育成事業

- 特定の研修への参加助成金を交付する。
- 研修結果を会員へ周知する。

7 加盟館の相互協力事業

○共通閲覧証による相互利用（加盟大学図書館間）。

8 その他必要な事項

○大人の読書活動推進事業について引き続き検討を行う。

令和2年度 予算

<一般会計>

収入 (円)

分担金等収入	各館分担金	1,498,000
	個人会員会費	45,000
	日図協団体活動費	129,520
繰越金	前年度繰越金	999,544
雑収入	雑収入	13
合計		2,672,077

支出 (円)

事務費	事務局費	120,000
事業費		
会議費	会議費	36,000
調査研究費	調査研究費	122,400
	館員等研究費	528,000
広報活動費	会報等発行費	644,760
	図書館総合展費	333,000
表彰費	表彰費	86,000
記念事業等特別会計繰出金		301,917
予備費		500,000
合計		2,672,077

令和2年度 役員名簿 (令和2年4月1日)

会長	松井 聡明 (県立)
副会長	田雑 由紀乃 (横浜市中心) 元木 章博 (鶴見大学)
理事	渋谷 佳代子 (県立) 日比野 典明 (県立川崎) 水野 純子 (横浜市中心) 小島 久和 (川崎市立中原) 平松 恭輔 (三浦市) 中川 禎久 (葉山町立) 石井 望 (相模原市立橋本) 葉山 清美 (厚木市立中央) 小林 裕治 (平塚市中心) 田中 和也 (秦野市立) 古矢 智子 (小田原市立中央) 石川 義弘 (横浜市中心大学) 森岡 緑 (横浜国立大学) 奥村 裕司 (相模女子大学) 中嶋 卓雄 (東海大学) 安達 和志 (神奈川大学) 立石 えり子 (公文書館)
監事	椎野 こずえ (かながわ男女共同参画 センター) 編田 照茂 (地球市民かながわプラザ)
事務局長	鈴木 めぐみ (県立)

令和2年度 委員会名簿 (◎は委員長)

<企画委員会>

- ◎小島 久和 (川崎市立中原)
古矢 智子 (小田原市立中央)
稲葉 伊岐子 (横浜市中心)
葉山 清美 (厚木市立中央)
石井 直美 (横浜市中心大学)
佐々木 友香 (公文書館)
小松 晶子 (県立)
山内 正伸 (横浜市中心)
牧 幸男 (鶴見大学)

<広報委員会>

- ◎古矢 智子 (小田原市立中央)

- 奥村 由香 (県立)
廣瀬 淳一 (横浜市中心)
石井 里枝 (県立川崎)
小林 菜摘 (川崎市立多摩)
河合 典子 (鎌倉市中心)
菊池 洋平 (綾瀬市立)
岸 明子 (関東学院大学)
三好 由美 (相模女子大学)
佐々木 友香 (公文書館)

<大学図書館協力委員会>

- ◎河西 徹 (横浜市中心大学)
牧 幸男 (鶴見大学)
舟本 幸福 (横浜国立大学)
古越 奈央 (相模女子大学)
紅谷 龍司 (東海大学)
百瀬 幸子 (関東学院大学)
堀江 美由紀 (神奈川大学)

<地域資料委員会>

- ◎稲葉 伊岐子 (横浜市中心)
小林 利栄子 (県立)
植原 由佳 (川崎市立中原)
小池 万年 (逗子市立)
大津久 洋子 (座間市立)
松瀬 智子 (藤沢市総合市民)
浅利 典江 (東海大学)
宇佐美 恒城 (近代文学館)

<研修委員会>

- ◎葉山 清美 (厚木市立中央)
白石 智彦 (県立)
土岐 千尋 (横浜市中心)
木村 美保 (県立川崎)
盛岡 絵理 (川崎市立麻生)
深水 賢一 (横須賀市立中央)
中島 純子 (相模原市立橋本)
萩原 郁美 (厚木市立中央)
腰越 未樹 (平塚市中心)
吉岡 伸恵 (秦野市立)
山田 広樹 (大磯町立)
佐藤 友佳 (南足柄市立)
森岡 緑 (横浜国立大学)
永沼 知之 (神奈川大学)
宇佐美 恒城 (近代文学館)

神奈川県図書館協会 令和2年度 人材育成事業

神奈川県図書館協会では、2018年に迎えた創立90周年を記念し人材育成事業を行っています。

この事業では、外部団体の研修へ参加する機会を増やし、会員の資質向上を図り、神奈川県全体の図書館司書の力量を高めることを目的に、会員のみなさまを対象に、2019年度～2023年度までの5年間、あらかじめ定められた研修に参加する際の経費を全額または一部助成します。

令和2年度助成対象事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から事業が中止となった場合、対象から除外します。

- ① 全国図書館大会（和歌山） 10月29日～30日
- ② 関東・甲信越静地区 図書館地区別研修（静岡） 12月1日～4日
- ③ 全国公共図書館研究集会（サービス、総合・経営部門）（大阪）時期未定

※ 専門図書館協議会全国研究集会は中止となったため、対象事業から除外。

※ ②以外は全日程参加（情報交換会等は除く）

②は概ね3日以上に参加を原則とします。

（研修日程の概ね4/5以上を受講し、研修成果について、研修終了後2週間以内にレポート（1,200字程度）を提出した者に修了証書が授与されるため）

助成対象者

神奈川県図書館協会加盟館に勤務する職員であること。ただし、過去に当該助成を受けたことのある職員は除くものとします。

募集開始時期 8月以降開始！

※ 別途、詳細な募集要項を協会ホームページでお知らせします。

多くのみなさまのご応募をお待ちしています！

戦国時代に整備された小田原城の総構は全長9kmにも及びますが、小田原短期大学のある城山は、その南西の外郭に当たります。この丘にはかつて旧閑院宮家の別邸があり、本学の敷地も1957年の開学に際し、旧宮家からご下賜いただいたものです。



爾来60有余年、本学の小さな図書館には希少本や特別なコレクションはありませんが、絵本など学生たちの学びに資する書籍等を意欲的に蒐集し、年に3回ほどテーマを決めて公開展示会を催すなど、社会貢献にも努めてまいりました。

そんな本学図書館のイチオシは、何といても恵まれた立地による読書環境です。

標高約60m、3階にある閲覧室からは相模湾の絶景が一望に見渡せます。読書に疲れたとき、思考が行き詰ったとき、ふと窓外に目をやると飛び

込んでくる海の光景。日の光を反射させつつ時々刻々と変化する海面の様子や、その中を横切る船のシルエット、水平線の彼方に浮かぶ雲の色などは、いつまで見ていても飽きることがありません。

もちろん、学生たちにも人気の場所です。短大のカリキュラムはタイトで空き時間も少ないのですが、それでも寸暇を惜しんで来室し、窓側の席で静かに読書や課題に取り組んでいる姿をよく見かけます。



ただ残念なことに建物の老朽化が著しく、間もなく大規模な改修工事が始まります。工事終了後、閲覧室は2階に移転する予定です。この絶景ともお別れですが、新しく利便性の増した図書館から、未来を担う読書好きの若者たちがたくさん育ってくれることを願っております。

(小田原短期大学図書館 馬見塚昭久)

